

平成 29 年度

安全研修会「広葉樹等の安全な伐採」実施報告書

千葉県里山林保全整備推進地域協議会

題 名	安全研修会「広葉樹等の安全な伐採」 実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：折損木等」 実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：かかり木&重心移動」
日 時	平成 29 年 11 月 8 日（水） 9：00～16：00
主 催	千葉県里山林保全整備推進地域協議会
共 催	特定非営利法人ちば里山センター
会 場	里山活動団体「ブリサ」フィールド（船橋市鈴身町地先）
出席者	受講生 17 名・講師 1 名・スタッフ 2 名
内 容	9：00～12：00 実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：折損木等」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 13：00～16：00 実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：かかり木&重心移動」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏
報 告	<p>・午前は針葉樹の折損木 2 本、広葉樹 2 本を、ロープ牽引を利用し伐採した。午後はロープと動滑車、チルホールを使った作業に加え、かかり木処理、重心移動を伴う伐採を行った。</p> <p>実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：折損木等」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けてチェーンソーの点検、始動、防護服、防護具の着用等、始業点検を行った。 ・今回のフィールドはイヌシデ、ムクノキ、コブシ、コナラの広葉樹林と若干の針葉樹。ロープと滑車、チルホールで牽引し伐採した。 ・最初の伐採は折損木。根元に受け口、追い口切り後、チルホールでロープにテンションを掛け頭頂部も同時に伐採した。 ・次の折損木は折損上部をロープで引き倒し、残った欠頂木をチェーンソーで伐採した。枝葉のない欠頂木は倒れるスピードが速いため、受け口を大きめにとり、追い口高めに設定し、高さでつるを稼ぐ手法を取った。 ・広葉樹の伐採はワイヤーロープ、滑車とチルホールによる重心移動を伴う伐採を行った。 ・スローラインとハシゴを使って伐採木にロープを掛けた。 ・ムクノキの伐採は根元から伸びるワイヤーロープを鋭角に牽引し伐採した。 <p>実習：「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採：かかり木&重心移動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コナラの伐採では、かかり木になり、ワイヤーロープによる牽引を動滑車に変え、かかり木を逃れて伐採した。 ・六本目の伐採はワイヤーロープで牽引し、重心移動させながら伐採した。想定通りに倒れなかったことから、重心移動を伴う伐採では追い口の切り口の確認と牽引のテンションが重要だという点を学んだ。 ・参加者からは、つるの残し方、団体フィールドで起きた出来事についての質問があり、今回の研修の出会いをネットワークして情報交換してはどうかとの提案があった。



木村講師



折損木 2 本を処理



根元から伐採



折損部にロープ掛け



ロープにテンションを掛ける



欠頂木を伐採



受け口切り



鋭角にロープ牽引



伐採 3 割、伐採木処理 7 割



動滑車を使った伐採



重心移動を伴う伐採



参加者全員集合